

## ◆ 今週のコメント

- ・ クロイツフェルト・ヤコブ病(古典型)の報告が1例(女性, 60歳代)あります。症状は, 進行性認知症, ミオクローヌス, 錐体路症状, 錐体外路症状, 記憶障害, 精神・知能障害, 筋強剛です。本年の累積報告数は2例となっています。
- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は0.90(37例)で, 第30週(7月21日～7月27日)以降, 3週連続で増加しており, 本年度で最も多い報告数となっています。また, 本週の報告数は「過去5年平均値+2SD(\*)」を上回っており, 過去5年間の発生状況よりもかなり多いことが示されています。例年, 6月頃から徐々に増加しはじめ, 7～8月に流行のピークを迎えますが, 昨年は12月頃にも大きな流行がありました。プールの季節で, さらに増加する可能性がありますので, 今後の発生にいつそうの注意が必要です。(\*)SDとは標準偏差のことで, データのばらつきの大きさを示す尺度です。本年の定点あたり報告数が過去5年平均値+2SDを超えているときには, 過去5年間と比較してかなり多いことを意味しています。

## ◆ 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

腸管出血性大腸菌感染症(EHEC)の報告が4例(10歳未満 2例, 10歳代 1例, 40歳代 1例)あり, 4週連続の報告となっています(第31週追加報告3例含む)。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症 4例(第31週追加分含む)【1月以降の累積報告数 17例】
- ・ 五類:クロイツフェルト・ヤコブ病(古典型) 1例【1月以降の累積報告数 2例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

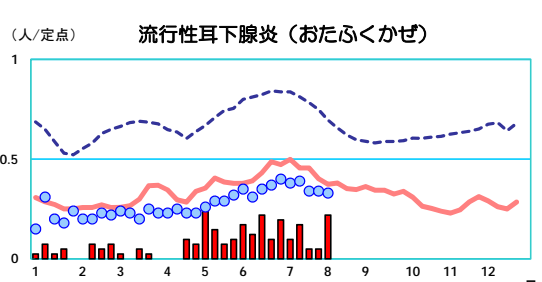
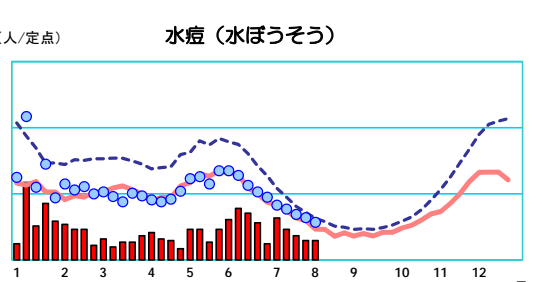
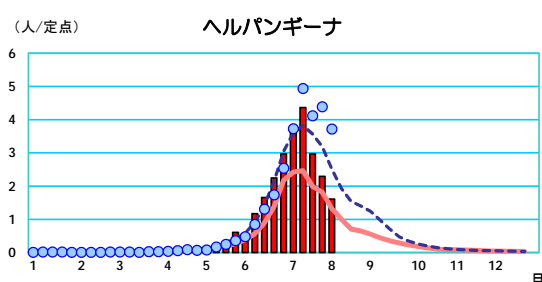
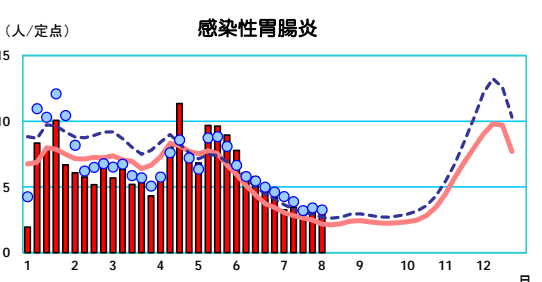
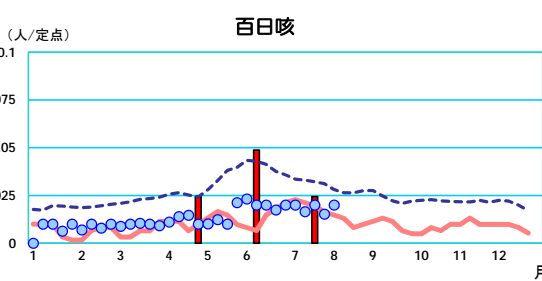
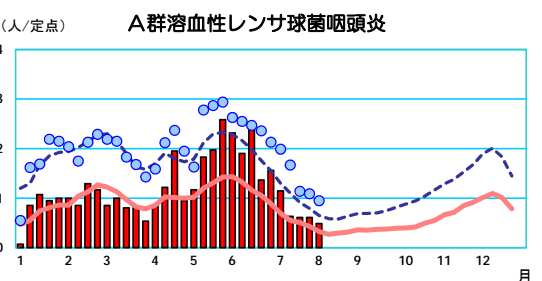
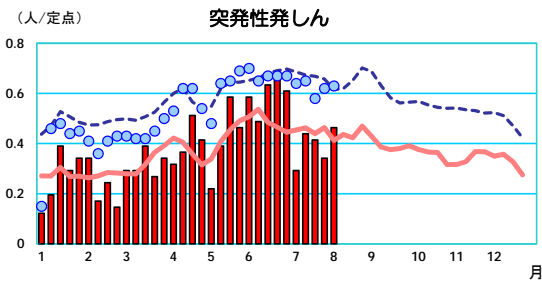
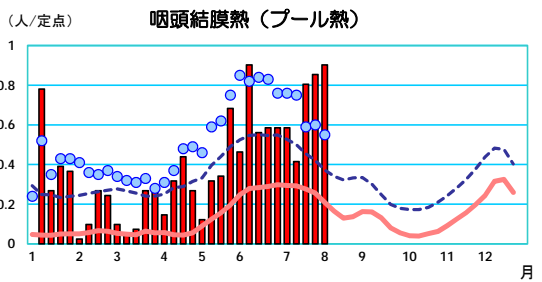
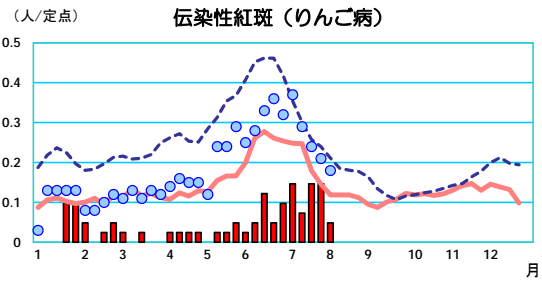
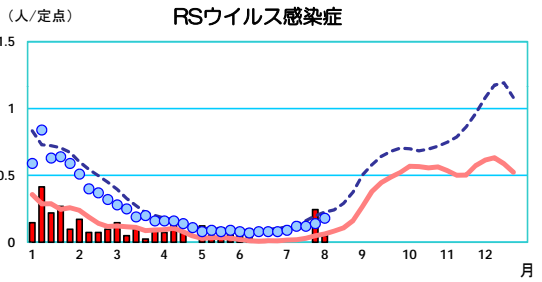
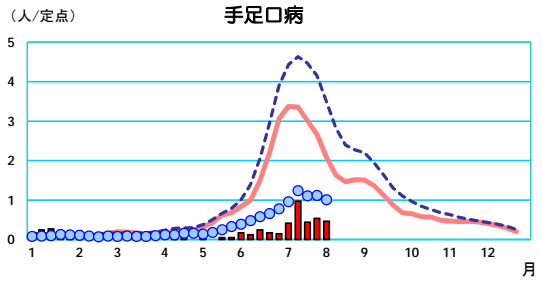
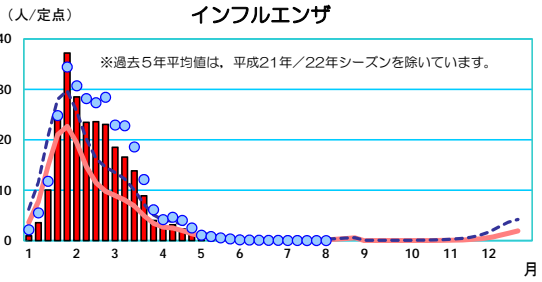
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.44	141
	② ヘルパンギーナ	1.61	66
	③ 咽頭結膜熱	0.90	37
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.49	20
	⑤ 手足口病	0.46	19
	⑤ 突発性発しん	0.46	19
眼科	流行性角結膜炎	1.60	16

### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

(注)京都市のデータは, 平成26年8月14日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成26年）



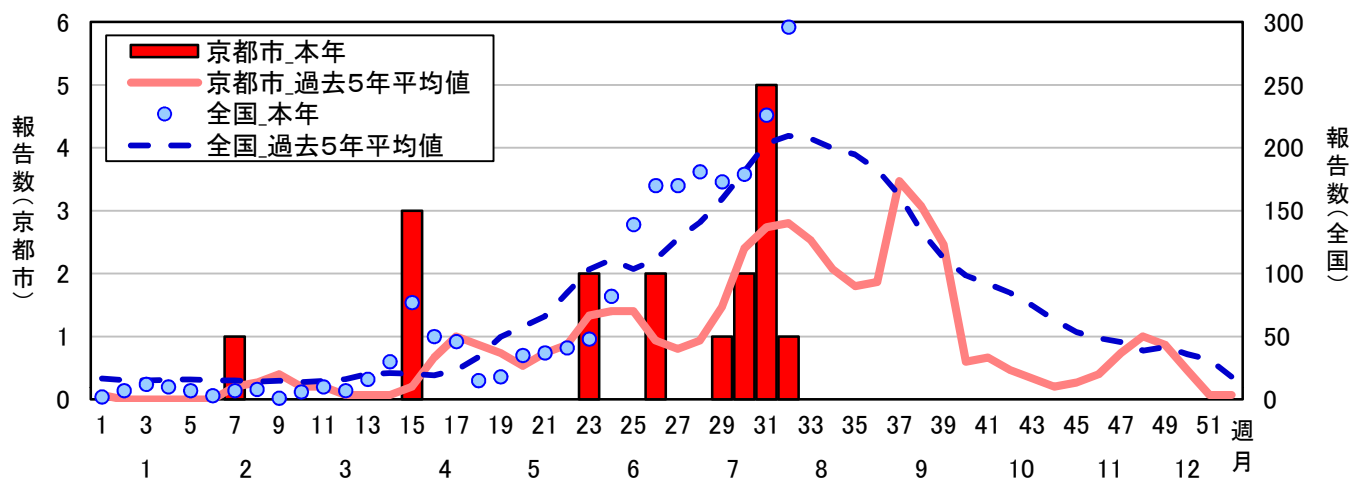
## 第32週(8月4日～8月10日)トピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

腸管出血性大腸菌感染症(EHEC)の報告が4例(10歳未満 2例, 10歳代 1例, 40歳代 1例)あり, 4週連続の報告となっています(第31週追加報告3例含む)。本年第32週までの累積報告数は17例で, 平成21年以降の各年同週までの累積報告数と比較すると, 平成24年に次いで2番目に少ない報告数となっています(平成21年 36例, 平成22年 24例, 平成23年 26例, 平成24年 13例, 平成25年 18例)。

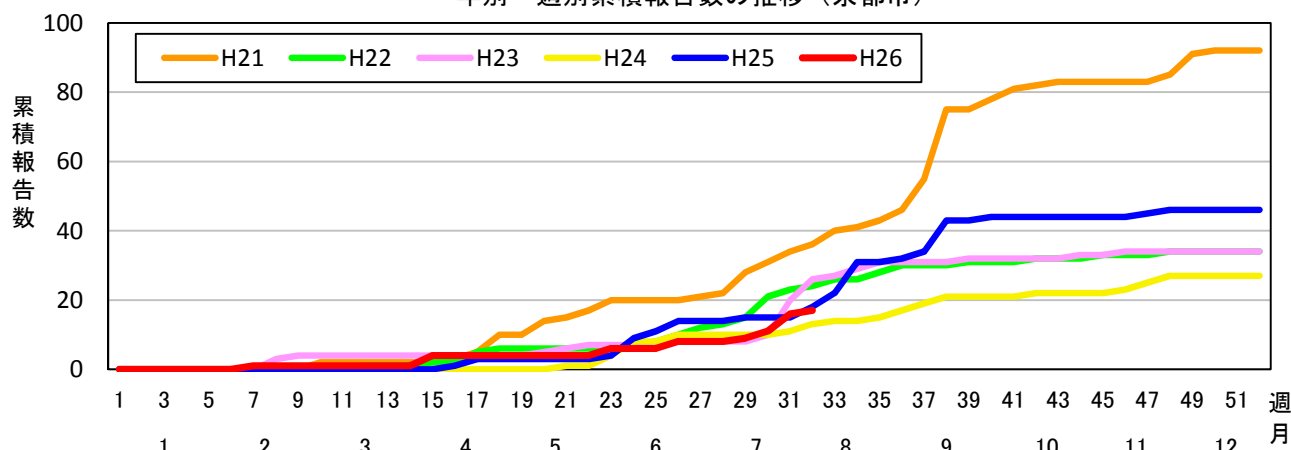
例年, 年齢を問わず届出があり, 届出の約3割は無症状病原体保有者の報告ですが, 有症患者の割合は, 小児と高齢者で高く, 20代～50代では低い傾向があります。特に, 低年齢の小児はEHEC感染とその後のHUS発症のリスクが高く, 徹底した感染予防が重要となります。

EHEC感染症が多発する夏季は, 他県で集団食中毒が報告されていることから, 食肉等の十分な加熱処理, 調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などを行うことにより, 食中毒の予防を徹底する必要があります。さらに, 毎年保育施設における集団発生が多くみられていることから, 排便後・食事前の手洗いの励行, 汚物の適切な処理など, 人から人への二次感染を予防することが重要となります。

京都市及び全国の報告数の推移



年別・週別累積報告数の推移(京都市)



年齢階級別報告数(京都市)

